

徳島大学（蔵本団地）病院等E S C O事業提案の講評・概要

本E S C O事業は、民間のノウハウ、資金、経営能力及び技術的能力を最大限に活用することによって、省エネルギーの推進及び環境負荷の低減、光熱量の効果的な削減を図ることを目的としたシェアード・シェイピングス契約E S C O事業です。

先般、広く事業提案を募集したところ2企業グループから事業提案が提出されました。

徳島大学（蔵本団地）病院等E S C O事業委員会は、これらの提案書に基づき各企業グループのプレゼンテーションにより、提案審査要領に則り厳正かつ慎重に審議した結果、最優秀提案（優先交渉権者）として、(株)丸誠を代表者とするグループ、優秀提案（次選交渉権者）として(株)四電工を代表者とするグループを選定しました。

最優秀提案の概要は、高効率熱源システムの導入、ヒートポンプ給湯機の導入、水搬送系省エネシステムの導入、導入機器と計測解析評価システム”M A T”及びデータ収集分析ソフト”G O D A”の活用による省エネチューニング等の導入により、具体性・妥当性がある適切な省エネルギー手法の提案と計画がなされ、全体としてバランス良く計画されており、本学の特質に沿った適切な提案と高く評価しました。

また、優秀提案の概要は、高効率熱源システムの導入、高効率給湯システムの導入、空調ポンプのインバータ制御化等により、十分な省エネ効果に加えて契約期間中の大学利益総額が大きく、本学施設の将来の省エネルギー方策を模索する上において技術的な示唆を与える優れた提案であることを評価しました。

今回の募集に際しては、事業対象施設の特質を踏まえ、本学施設及び病院の運営・業務に支障がないもの、また、地震・津波の規模に対して機能維持が可能なものに対し配慮された設備更新計画を要請しました。各々のグループからは、これに応じた様々な設備・手法の提案があり、省エネルギーと二酸化炭素の削減につながる意欲的で優れたアイデアやL E D照明器具の導入など環境負荷低減を目指す取り組みなどが盛り込まれていました。

本事業の実施にあたり、こうした高い技術力と優れたアイデアに基づいた貴重な提案を頂き、かつ多大な労力をご提供いただいた提案者に心から敬意と感謝の意を表しお礼を申し上げます。

平成24年10月1日

徳島大学（蔵本団地）病院等E S C O事業委員会委員長
野 地 澄 晴

徳島大学（蔵本団地）病院等E S C O事業委員会 委員

（敬称略）

役 職	氏 名	所 属
委員長	野地 澄晴	徳島大学理事（研究担当）
委 員	木戸口 善行	徳島大学大学院ソシオテクノサイエンス研究部エネルギーシステム部門教授
委 員	正本 英紀	徳島県県民環境部環境総局環境首都課地球温暖化対策担当係長
委 員	高木 実	鳴門教育大学経理企画本部施設課長
委 員	安井 夏生	徳島大学病院長
委 員	松下 博行	徳島大学施設マネジメント部長
委 員	佐伯 隆二	徳島大学病院事務部長